

# 2023年度（令和5年度） 行政版デジタル化実行計画 評価報告書

## 行政のデジタル化

### 【総括（評価のまとめと今後の方向性）】

#### 【市民サービスの向上】

「行かない、書かない、待たない市役所」の実現に向け、いつでもどこでも申請や予約が可能な環境や窓口のスマート化などを整備した。そして、誰一人取り残されない福山市として、高齢者などのデジタルデバイド（情報格差）の解消に向けた取組を加速させた。

今後は、市民ニーズの把握に努め、市民の利便性が高まるサービスの提供、待ち時間が多く発生している行政手続のオンライン化を図るとともに、デジタル活用に関する理解や技術が十分でない人を対象にした講習会等の継続的な実施に取り組む。

#### 【行政内部事務の効率化】

プロジェクト管理及び事業の進捗状況の把握を実現するため、プロジェクト管理ツールの導入を行い、プロジェクトの質の向上や関係者間の円滑なコミュニケーションの確立を図るなど、業務効率化に寄与した。

また、スマート保育の拡充や民生委員のタブレット端末の導入など、昨年度に引き続きデジタルを活用した業務効率化が図られた。

今後は、プロジェクト管理ツール等の業務効率化に資するツールの活用定着に向けた継続的な研修会の開催や効果的な活用事例の共有などを行うとともに、働きやすい職場環境の整備に向け、制度や運用面の見直しに取り組む。

#### 【デジタル基盤整備と人材育成】

未来を担う子供たちのデジタル教育環境の整備や教職員の実務環境の改善に向けたシステムの導入準備を実施した。

また、昨年度に続き、市民ニーズへの対応や課題解決につながるデジタル化事業の立案・実施ができる人材を育成するため、全部署にデジタル化推進員を配置し、デジタル活用や企画力の向上につながる各種研修を実施した。

今後も、デジタル人材を計画的に育成・確保するとともに、自治体が独自に開発・運用している情報システムの経費や職員の事務負担の軽減を目的とした情報システムの標準化対応も計画的に進める。

### 【評価結果一覧】

基本方針	施策	事業数	評価
1 市民サービスの向上	(1) 行政手続のオンライン化	10	B
	(2) 窓口のスマート化	3	A
	(3) 情報発信の最適化	5	B
2 行政内部事務の効率化	(1) デジタルの活用による業務効率化	8	B
	(2) 多様な働き方の実現	2	B
3 デジタル基盤整備と人材育成	(1) 市民サービスに係る基盤整備	4	A
	(2) 行政内部の基盤整備	1	B
	(3) デジタル化推進体制の構築	3	B

#### 一評価方法について一

- ① 各施策に位置付く事業の目標達成率を算出し、点数化
- 5点（◎）：達成率 100 %以上
  - 4点（○）：達成率 80 %以上 100 %未満
  - 3点（△）：達成率 60 %以上 80 %未満
  - 2点（×）：達成率 60 %未満

- ② 施策ごとに平均点を算出し、評価
- A：平均 4.5 点以上
  - B：平均 3.5 点以上 4.5 点未満
  - C：平均 2.5 点以上 3.5 点未満
  - D：平均 2.5 点未満

## 基本方針1 市民サービスの向上

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)行政手続のオンライン化	<p>【オンライン手続の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国等が定める規制や運用面での課題が多く、当初予定していた件数に到達できなかった。(411手続→469手続)</li> </ul> <p>【マイナンバーカードの普及促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、商業施設へ申請会場の設置、企業等への出張申請、自治体マイナポイント事業等の実施により、交付率が1年間で9.1ポイント上昇したが、目標達成には至らなかった。また、マイナンバーカードの利活用の拡大に向けて、検討プロジェクトを立ち上げ、調査、研究を行い、新規事業の実施に向けた準備を行った。</li> </ul> <p>【公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の「オンライン予約」と「鍵の受渡しを不要とするスマートロック」について、交流館5館で運用を開始した。利用者からは、「申請が簡単になった」「鍵の受渡しのために施設に行く必要がなくなり便利になった」と好評を得ている。</li> </ul> <p>【フレイルチェックのデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の利用回数から大幅に減少していることから、その要因を十分に検討する必要がある。</li> </ul> <p>【健康増進アプリの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の課題であった登録者数の増加を図るため、企業・団体での登録を開始し、登録者数が前年度比約1.8倍になった。</li> </ul>		<p>【オンライン手続の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログ規制改革による業務プロセスの見直しを進める中で、引き続き、オンライン手続の拡大に取り組む。</li> </ul> <p>【マイナンバーカードの普及促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請支援を継続するとともに、利活用の拡大に向けて、市から郵送する通知等について、マイナンバーカードによる本人確認を済ませたアプリを通じて、プッシュ型で通知する仕組みを導入する。</li> </ul> <p>【公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の「オンライン予約」と「鍵の受渡しを不要とするスマートロック」について、2024年度中に全交流館に導入する。また、2025年度までに全学校施設に導入する。</li> </ul> <p>【フレイルチェックのデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイルチェック会や市公式LINEを活用したフレイルチェックなどをより多くの人に周知できるような取組を実施する。</li> </ul> <p>【健康増進アプリの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録キャンペーンなど新規登録者の確保に取り組むとともに、継続利用者が飽きることなく健康づくりにアプリを活用できるような取組を実施する。</li> </ul>				
評価	B						
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度 (参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
① オンライン手続の拡大	各種申請や届出、郵送請求が可能な手続をオンライン化し、拡大	オンライン化数 (累計)	実績値/目標値 125手続/150手続	411手続/400手続	469手続/600手続	/800手続	
② マイナンバーカードの普及促進	マイナンバーカードの利用シーンを創出、周知	マイナンバーカード交付率	実績値/目標値 36.3%/40%	72.1%/100%	81.2%/100%	/100%	
③ 問合せ自動応答サービスの分野拡大	「福山市AI案内サービス」の回答分野拡大	問合せ可能分野数 (累計)	実績値/目標値 13分野/13分野	21分野/20分野	23分野/25分野	/30分野	
④ 交流館等の貸館利用におけるスマート化	スマートロックの導入を検討するため、試験導入・効果検証をする	導入施設数 (累計)	実績値/目標値 2か所/試行実施 (2か所)	7か所/試行の拡大 (7か所)	14施設/14施設	/運用状況を踏まえ拡大	
⑤ 公共施設予約システムの拡大	施設の空き状況や予約が可能なオンラインシステムの利用可能な施設の拡大	登録施設数 (累計)	実績値/目標値 36施設/35施設	43施設/45施設	43施設/50施設	/72施設	
⑥ キャッシュレス決済の推進	窓口での証明書交付手数料など、キャッシュレス決済を導入	3万件/年以上受領があるキャッシュレス決済導入数	実績値/目標値 6施設/6施設	7施設/7施設	10施設/10施設	/11施設	
⑦ フレイルチェックのデジタル化	スマホ等アプリで市民が気軽に診断し、健康状態を把握できる	フレイルチェック実施人数	実績値/目標値 4,971人/7,260人	11,999人/9,660人	9,325人/13,550人	—	
⑧ 健康増進アプリの導入	健康増進アプリを通して市民の健康づくりに対する意識向上と生活習慣の改善を図る	アプリのユーザ登録者数	実績値/目標値 —	2,585人/10,000人	4,752人/6,500人	/6,600人	
⑨ 電子図書貸出サービスの導入	24時間どこでもウェブサイトから電子図書の貸出・返却・予約ができる	貸出回数	実績値/目標値 49,712件/7,500件	52,026件/11,250件	51,957件/65,400件	/69,150件	
⑩ 文化施設のオンラインチケット購入システムの導入	文化施設で実施する各種チケットについて、オンラインで購入から決済までを可能とするシステムを導入	オンライン利用率	実績値/目標値 —	—	25%/15%	/30%	

## 基本方針1 市民サービスの向上

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)窓口のスマート化	<b>【窓口予約システムの導入】</b> ・市LINE公式アカウントを活用し、新築家屋調査や出生ワンストップ窓口などの予約を可能とした。LINEからの予約率が約8割になるなど、市民の利便性向上と職員の事務負担の減少につながった。 <b>【書かない窓口システムの導入】</b> ・対象手続を税部門や子育て部門に拡大し、市民の負担軽減と待ち時間の削減を図った。対応できる手続数の拡大が必要。		<b>【窓口予約システムの導入】</b> ・利用者アンケートを随時実施し、ニーズに応じて修正や機能追加の検討を行う。 ・市民アンケートにおいても「手続種類の拡大」が挙げられていることから、待ち時間が多く発生している手続を対象に、計画的に拡大する。 <b>【書かない窓口システムの導入】</b> ・対象業務の洗い出しを行い、運用方法も整理する中で計画的に手続数を拡大する。				
評価							
A							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 窓口予約システムの導入	マイナンバーカード交付予約システムの導入効果を検証し、他業務へ拡大	窓口で15分以上の待ち時間が生じる業務数及びLINE利用率	実績値/目標値	導入（3月～） /マイナンバーカード交付予約システムの導入	5業務/5業務	7業務/10業務 83%/40%	/30業務 /60%
			達成状況	○	◎	◎	
② 子育て支援アプリの機能拡充	子育て支援アプリに休日保育予約機能を拡充	アプリからの申込率	実績値/目標値	—	24%/40%	終了	
			達成状況	—	△		
③ ワンストップサービスの導入	事務処理の流れを分析・評価し、よりスムーズな手続きに改善	導入スケジュール	実績値/目標値	出生・おくやみで導入 /ワンストップサービス導入	おくやみで予約システムを導入 /既存サービスの分析と業務選択	出生で予約システムを導入 /既存サービスの分析と業務選択	/他業務での実施
			達成状況	◎	○	○	
④ 書かない窓口システムの導入	申請手続に係る市民の待ち時間や負担を軽減	手続数	実績値/目標値	導入検討/導入検討	8手続/5手続に試行導入	16手続/16手続	/30手続
			達成状況	○	◎	◎	

## 基本方針1 市民サービスの向上

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(3)情報発信の最適化	<p>【情報発信の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSの機能（フレックスメッセージなど）を活用した配信内容の充実を図り、SNSのフォロワー数を着実に増加させた。</li> </ul> <p>【スマートフォンの購入支援・講習会の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度に続き、スマートフォンの購入補助から使い方までの一体的な支援を行う高齢者デジタル活用支援事業を実施した。前年度、「制度を知らなかった」という声があったため、高齢者の家族に向けた広報を実施することで、目標達成に至った。</li> <li>・ スマートフォンの基本的な使い方が学べるデジタルサービス講習会は、昨年度のニーズを踏まえ、実施回数を大幅に増やした。また、講習会の満足度を高めるため、地域の状況に沿った研修メニューを選択できる講習会を交流館で実施した。</li> </ul>		<p>【情報発信の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ より多くの市民に市政情報を届けるため、引き続き、SNSのフォロワー数を増やす取組を進める。また、市民にとって有益な情報となるよう、発信のタイミングや内容の質を高める。</li> </ul> <p>【スマートフォンの購入支援・講習会の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルサービス講習会は、引き続き、拠点支所だけでなく公民館で実施するなど、高齢者が参加しやすい環境を整備するほか、講座に対する満足度を向上させるため、アンケート結果から判明したニーズを反映させるなど、講座内容の充実に取り組む。</li> </ul>				
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 情報発信の充実	リアルタイムに市政情報が届く仕組みを構築。若年層向けに各SNSから発信	市公式SNSフォロワー数	実績値/目標値	150,985/169,000	184,427/185,900	204,176/204,500	/225,000
			達成状況	○	○	○	
② デジタルサービス講習会の実施	デジタル活用に理解や技術が不十分な人を対象に、講習会を開催	講習会実施	実績値/目標値	23%/10%	40%/30%	67%/65%	/100%
			達成状況	◎	◎	◎	
③ 高齢者デジタル活用支援事業	高齢者を対象に、スマホの購入、使い方などを支援	事業でスマホを購入・買い替えた高齢者数	実績値/目標値	—	7,946人/10,000人	3,826人/3,000人	/高齢者のデジタルサービスの利用拡大
			達成状況	—	△	◎	
④ 地域情報のデジタル化	地域自らがデジタル技術を活用した情報伝達、発信ができるよう支援	希望する学区への支援	実績値/目標値	14学区/支援14学区	46学区 /ニーズ調査の検討/希望する学区を臨時支援	59学区 /ニーズ調査の検討/希望する学区を臨時支援	/ニーズ調査の検討/希望する学区を臨時支援
			達成状況	◎	◎	◎	
⑤ 水位監視システム整備	水路等の情報をインターネットにより常時把握する	導入スケジュール	実績値/目標値	実証実験結果を評価 /実証実験結果を評価	整備完了・運用開始 /整備・運用	終了	
			達成状況	◎	◎		
⑥ 避難情報一括送信システムの導入	緊急速報メールや電話、FAX、SNSなど複数媒体へ情報を一括送信できるシステムを導入	導入スケジュール	実績値/目標値	—	導入/導入	終了	
			達成状況	—	◎		
⑦ デジタル観光マップの整備	Webサイトから閲覧でできるデジタルマップに、見どころ、経路案内などの観光関連情報を表示	マップPV数	実績値/目標値	71,174/71,174	289,585/105,000	71,579/158,000	/237,000
			達成状況	◎	◎	×	

## 基本方針 2 行政内部事務の効率化

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1) デジタルの活用による業務効率化	<b>【RPAの導入業務拡大と文書管理システムの導入】</b> ・入力等の単純作業を自動化するRPAの導入業務の拡大や文書管理システムの導入により、業務時間の短縮と決裁事務のスピード化を図った。文書管理システムは、課題を整理した上で、運用ルールの改善を実施した。 <b>【アプリやタブレットの導入】</b> ・スマート保育を新たに39施設に導入することができた。 ・民生委員のタブレット端末の活用において、民生委員へタブレット端末を配布し、実証をした結果をまとめた。効果を実感するまでに期間を要することが課題。 <b>【プロジェクト管理ツール等の導入】</b> ・プロジェクト管理ツールを全部署に導入した。事業の進捗状況がリアルタイムに共有できるため、関係者間のコミュニケーションが円滑となり、業務効率化に寄与した。ツールの活用度に差があるため、活用の定着に向けた取組が必要。		<b>【RPAの導入業務拡大と文書管理システムの導入】</b> ・RPAの導入に当たっては、現在の業務フローの見直しも含め、計画的に拡大する。 <b>【アプリやタブレットの導入】</b> ・スマート保育を公立の市内全施設へ導入する。併せて、機能面や運用面の改善を行い、利便性向上を図る。 ・民生委員のタブレット端末について、定期的なアンケートを通じて、効果的な活用事例を他地域に共有し、活用機会を創出する。 <b>【プロジェクト管理ツール等の導入】</b> ・継続的な研修の実施や好活用事例の共有など、ツールの活用定着に向けた取組を行う。				
	B						
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度 (参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
① RPAの導入業務の拡大	定例的・定期的な作業を自動化するRPAの導入業務を拡大	導入業務数 (累計)	実績値/目標値 18業務/17業務	21業務/20業務	24業務/24業務	/26業務	
② 文書管理システムの導入	文書事務を発生から廃棄まで管理する「文書管理システム」を導入	①電子決裁率 ②コピー用紙の利用枚数	実績値/目標値	17%/17%	25%/40%	52%/70%	/70%
			達成状況	◎	△	△	
			実績値/目標値	9%削減/10%削減	14%削減/30%削減	27%削減/50%削減	/50%削減
			達成状況	○	×	×	
③ スマート保育の実施	保護者との連絡などのデジタル化を実証し、順次市内施設へ導入	導入施設数 (累計)	実績値/目標値 2施設/2施設	7施設/7施設	46施設/46施設	/54施設	
④ 消防団アプリの導入	アプリ上で出勤報告を取りまとめ、出勤管理を行うとともに、災害時の情報伝達手段として活用	導入割合	実績値/目標値	導入検討/導入検討	100%/100%	終了	
			達成状況	○	◎		
⑤ 民生委員のタブレット端末の活用	一部の民生委員でタブレットを使った会議、資料共有を実施し、全体への運用拡大を検討	タブレット導入台数	実績値/目標値	—	85台/100台 (試験導入)	85台/85台 (実証実験)	/試験導入の結果を基にした方針に伴う実行
			達成状況	—	○	◎	
⑥ 子ども見守り・成長支援事業	教育や福祉に関するデータ化・分析により問題の主要素を明らかにし、予防的支援につなげる	事業実施	実績値/目標値	—	調査・分析/調査・分析	解決策の方向性を決定/全市的な活用を模索	/全市的な活用を模索
			達成状況	—	◎	◎	
⑦ 動物園における動物の個体・医療情報等のデータベース化	飼育動物の個体情報や医療情報等管理をデジタル化する	業務削減時間	実績値/目標値	—	—	10時間/24時間/年	/24時間/年
			達成状況	—	—	×	
⑧ AIを活用した水道管路の劣化予測診断	配管状況や漏水履歴など本市独自のデータに加え、土壌などの環境データをAIが学習することで、水道管路の劣化状況を予測するためのモデルを構築し、市内全域を予測診断する	診断済管路延長	実績値/目標値	—	700km/700km	1,050km/1,050km	/1,050km
			達成状況	—	◎	◎	
⑨ プロジェクト管理ツールの利活用	庁内の関係者とのリアルタイムな情報共有や事業目標及び進捗管理、業務及び職員の稼働の可視化が可能なプロジェクト管理ツールを全庁に導入	業務削減時間	実績値/目標値	—	—	21,400時間/20,400時間/年	/36,000時間/年
			達成状況	—	—	◎	

## 基本方針 2 行政内部事務の効率化

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)多様な働き方の実現	<p>・テレワーク専用端末数を拡充し、自宅で執務できる環境を整備した。テレワークの定着に向けて、希望する職員が実施できる環境の整備が必要である。</p> <p>・テレワークチャレンジ月間を設けるなど、希望する職員が実施しやすい環境整備を行った。</p> <p>・会議室や支所など、場所に捉われない働き方に対応するため、庁内どこでも事務端末をネットワークに接続できる環境を構築した。</p>		<p>・現在のテレワークの実施状況を踏まえる中で、希望する職員がテレワークを実施できるよう、引き続き、制度面の改善を行う。</p> <p>・コミュニケーションツールの効果的な活用方法や効率的な仕事の進め方（プロジェクトマネジメント）について、共有・研修を行い、より働きやすい環境を構築する。</p>				
評価							
<b>B</b>							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① テレワーク環境の整備及び利活用	ハード面（システム）やソフト面（制度）の改善を行い、利活用を促進	テレワーク定着率	実績値/目標値	64%/80%	70%/100%	<b>73%/100%</b>	/100%
			達成状況	○	△	○	
② 庁内ネットワークの無線化	職員が使用するパソコンのネットワークを計画的に無線化	無線化施設数	実績値/目標値	6施設/6施設	8施設/8施設	終了	
			達成状況	◎	◎		
③ インターネット用タブレット端末の活用	職員等のデジタルリテラシー向上を図り、利用率向上	会議のオンライン化率	実績値/目標値	50%/50%	60%/100%	<b>80%/100%</b>	/100%
			達成状況	◎	△	○	

### 基本方針3 デジタル基盤整備と人材育成

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)市民サービスに係る基盤整備	<p>【インターネット環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが快適にインターネットを利用できるよう、市内全域に光ファイバ網を整備するとともに、公民館等の公共施設にフリーWi-Fiを設置した。</li> </ul> <p>【教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の児童生徒との関わりや授業づくりの時間を増やすため、教育事務の効率化に資する統合型校務支援システムの導入に向け、プロジェクト体制で検討し、必要予算を確保した。</li> <li>STEAM教育を推進するための環境（デジタルラボ）を整備した想青学園において、経済産業省の実証事業を活用し、探究学習を行った。</li> </ul>		<p>【インターネット環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設に設置したフリーWi-Fiの利用状況や新たなニーズを踏まえ、必要に応じて対象施設の拡大を検討する。また、5Gなどの新たな通信基盤について、利用可能なエリアの拡大に向けて国等へ働きかけを行う。</li> </ul> <p>【教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の業務の効率化を可能とする統合型校務支援システムの2025年度実装に向けて、統合型校務支援システムを調達し、構築をする。</li> <li>近隣の学校も参加する中で想青学園を活用した探究学習に取り組み、今後のデジタルラボの在り方を検討する。</li> </ul>				
評価	A						
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 光ファイバ網の整備	光ファイバ未整備地域への整備	光ファイバ網整備率	実績値/目標値	100%/100%			
			達成状況	◎			
② Wi-Fiスポットの整備	利用状況や市民ニーズを把握し、計画的に整備	公共施設の整備数（累計）	実績値/目標値	99施設/99施設	106施設/102施設	ニーズを把握する中で計画的に整備	
			達成状況	◎	◎		
③ ICT教育環境の整備	児童・生徒用学習端末等、ICTを活用した学習環境の整備及び維持管理	アンケート回答率「授業の中でICTを積極的に活用している」	実績値/目標値	2025年度末までに100%			
			達成状況	○（87.0%）	○（84.5%）	○（83.6%）	
④ 統合型校務支援システムの導入	統合型校務支援システムを導入し、校務を改善	システムの導入・検討業務	実績値/目標値	—	—	要件確定、費用額の確定 / 要件確定、費用額の確定	/システム調達、構築
			達成状況	—	—	◎	
⑤ デジタル・ラボの整備	柔軟で創造的な様々な学習「形態・メディア・場所」の空間を整備	フェーズ	実績値/目標値	—	整備	実証運用開始/実証運用開始	/効果検証
			達成状況	—	◎	◎	

### 基本方針3 デジタル基盤整備と人材育成

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)行政内部の基盤整備	<p>【システム標準化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募にてRFIを実施し、システム標準化に係る全体経費を把握の上、令和6年度～令和7年度に必要な経費を予算計上した。</li> <li>・システム標準化に係る調達方針（バージョンアップ対応又はプロポーザル）を決定し、契約に向けた仕様や要件の詳細化を行った。</li> <li>・一部のベンダからの申出により、2業務については移行困難システムとなる見込み。</li> <li>・ガバメントクラウドや接続回線、標準化に伴う新たな庁内環境について、システムベンダ及び関係部署と調整を行い、基本的な構成を作成した。</li> </ul>		<p>【システム標準化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の推進に向けて、ICT推進課内に設置した事務局が、引き続き全体の進捗を把握、けん引していく。</li> <li>・本市内部で足並みが揃うよう、引き続き関係部署と連携をとり、遅滞なく推進できるよう努める。</li> </ul>				
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 情報システムの標準化対応	国が定める目標時期までに、標準準拠システム（20業務）へ移行	標準化対応スケジュール	実績値/目標値	移行準備/移行準備	2025年度末までに20業務/20業務		
			達成状況	○	◎	○	

### 基本方針3 デジタル基盤整備と人材育成

施策名	2023年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(3)デジタル化推進体制の構築	<b>【組織体制の整備とデジタル人材の育成】</b> ・市民ニーズへの対応や課題解決につながるデジタル化事業の企画・実施ができる人材を育成するため、政策立案力研修やITパスポート試験の資格取得支援を行った。		<b>【組織体制の整備とデジタル人材の育成】</b> ・福山市デジタル化推進委員会で、定期的に事業の進捗状況を確認する中で、必要に応じて、計画や事業の見直しを実施する。 ・引き続き、デジタル化推進員を中心に、市民ニーズへの対応や課題解決につながる人材育成研修を実施する。				
評価							
<b>B</b>							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度 (参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
① 組織体制の整備	全庁・横断的なデジタル化推進体制を構築し、業務遂行方法、組織・人事の仕組み、組織文化・風土の改革を含めた事業推進を行う	—	実績値/目標値	—	—	—	—
			達成状況	—	—	—	
② データの利活用	行政情報をオープンデータとして公開するとともに、充実を図る	オープンデータのデータセット数(累計)	実績値/目標値	4件/8件	12件/12件	<b>12件/17件</b>	/22件
			達成状況	×	◎	△	
③ デジタル人材の育成	各部署においてデジタル技術の基礎や活用に関するスキルなどの研修を実施	デジタル人材育成研修会の理解度(2022年度までは参加率)	実績値/目標値	制度設計/基礎研修(100%)	84%/100%	<b>85%/100%</b>	/100%
			達成状況	×	○	○	